

ギカイだより

GIKAI DAYORI
contents

3月定例会の概要……………2～3
一般質問……………4～6
一般質問・意見交換会……………7
委員会レポート・ラジオ放送等……………8
審議結果……………9
議員研修会・行政視察受入……………10
政務活動費収支報告……………11

坂出北インターチェンジが開通!



変わりゆく坂出

3月定例会の概要

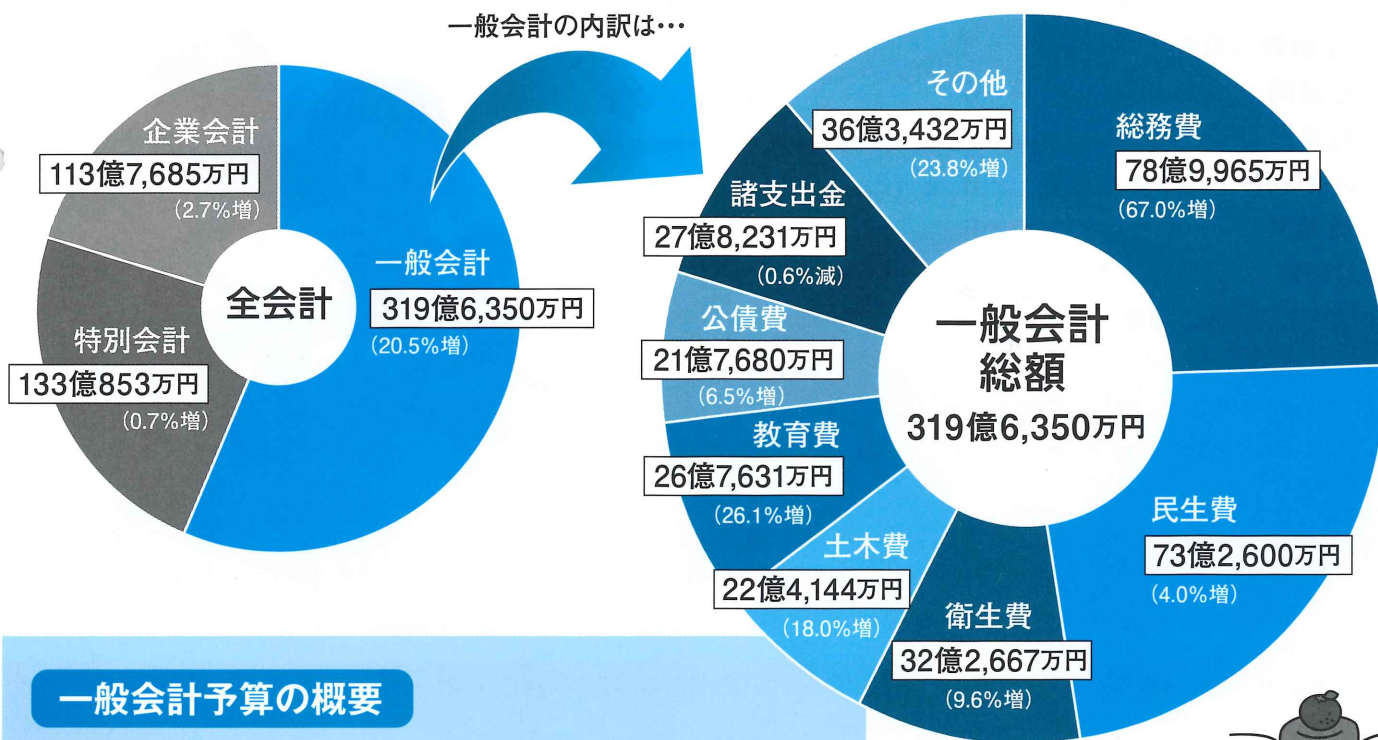
3月定例会では、初日に市長から施政方針が示されるとともに令和8年度一般会計予算など11会計の予算案をはじめ、条例制定案1件、条例の一部改正案9件、令和7年度補正予算案3件、その他6件の計30件が提案され、各常任委員会での審査を経て（一部議案は委員会への付託を省略）、いずれも原案のとおり可決しました。

また、最終日には人事案件3件が追加提案され、いずれも原案のとおり同意しました。

（議案の審議結果は9ページをご覧ください。）

令和8年度 一般会計・特別会計・企業会計予算 総額566億4,888万円を可決

（ ）は前年度比



一般会計予算の概要

- ▼前年度に比べて54億4,350万円の増額予算となっています。
 - ▼歳入では、社会経済活動の進展に伴い、個人市民税や固定資産税をはじめとする市税や地方消費税交付金、また地方交付税の増収が見込まれています。
 - ▼歳出では、中心市街地活性化公民連携事業の本格的な進捗や再編新校（前期）整備事業の実施に伴う投資的経費の大幅な増額に加え、物価高騰生活支援給付金などの補助費等の増額や人事院勧告を踏まえた職員給与引き上げ等による人件費の増加などが見込まれています。
- さらには、空き家除却支援事業補助金を増額し、空き家への対策を一層強化するなど、「新しい坂出」に向けたまちづくり関連事業のほか、学校給食事業補助金を増額し、新たに中学校の給食費無償化や物価高騰の支援を拡充するなど、子育て世代に選ばれるまちづくり関連事業に、積極的に予算配分しました。また、ゼロカーボンシティの実現に向けた取組、安全安心のまちづくり、公共施設の老朽化対策などにも予算を重点配分することで生じた財源不足約9億9,900万円については財政調整基金繰入金からの繰り入れにより対応しました。

用語解説

一般会計

福祉や教育など市民のために広く使われる会計のこと

特別会計

一般会計とは別に国民健康保険事業や介護保険事業など、特定の目的のために使われる会計のこと

企業会計

病院事業や下水道事業のように利用者が負担する経費（診察料や使用料）によって運営される会計のこと

財政調整基金

年度間の財源の不均衡を調整するために積み立てる基金、市の貯金のようなもの



主な議案を PickUP

ピックアップ

第2次坂出市まちづくり基本構想 について集中審議

議案第63号 第2次坂出市まちづくり基本構想の策定について

概要

平成28年3月に策定された坂出市まちづくり基本構想は、市の長期的なまちづくりの方向性を示す最上位となる方針として位置づけられてきました。

政策体系上でも中心的な役割を果たし、都市計画、福祉、産業振興等の個別計画を総括する基盤として策定し、「働きたい 住みたい 子育てしたい 共働のまち さかいで」を将来像として掲げ、市民・行政が一体となり、様々な施策の推進に取り組んできました。

近年では、駅周辺再整備や緩衝緑地整備などの坂出再生に向けた取組を進め、暮らしやすく魅力ある都市空間の形成と地域経済の活性化に努めています。

一方で、少子高齢化の進行や人口減少、働き方や生活環境の変化、DX等の技術革新など、社会経済環境は大きく変化しています。また、近年の都市整備や坂出再生の取組を踏まえ、より計画的かつ効果的にまちづくりを進めるためには、長期的な視点で方向性を検討していく必要があります。

こうした背景を踏まえ、第2次坂出市まちづくり基本構想では、これまでの取組を引き継ぎつつ、新たな課題や将来展望に対応した指針を策定することを目的としています。その上で、市民と行政が将来像を共有し、持続可能で活力ある都市の実現を目指します。

主な策定経緯と 議会における審議

- 令和7年2月、市民・事業者アンケート調査
- 令和7年7月、市民ワークショップ(まちづくりラボ)
- 令和7年9月、まちづくり基本構想審議会
- 令和7年11月、まちづくり基本構想審議会からの答申
- 令和8年3月2日、まちづくり基本構想特別委員会を
設置(議長を除く18名の議員で構成)
- ・委員長 茨 智仁
- ・副委員長 丸岡豊和
- 令和8年3月17日、まちづくり基本構想特別委員会で
基本構想(案)について審査
- 令和8年3月25日、本会議において賛成多数で可決



3月定例会の日程

- | | |
|-------|--|
| 3月2日 | 本会議
委員 施政方針、提案説明
まちづくり基本構想
特別委員会
議会運営委員会 |
| 3月9日 | 本会議
一般質問(代表・個人) |
| 3月10日 | 本会議
一般質問(個人) |
| 3月11日 | 本会議
議案質疑・委員会付託
議会運営委員会 |
| 3月12日 | 委員会
教育民生委員会の審査 |
| 3月13日 | 委員会
総務消防委員会の審査 |
| 3月16日 | 委員会
市民建設委員会の審査 |
| 3月17日 | 委員会
まちづくり基本構想
特別委員会の審査 |
| 3月25日 | 委員会
議会運営委員会 |
| 本会議 | 本会議
議員総会
委員長報告
委員長報告への質疑・
討論・採決
追加議案の提案説明
追加議案への質疑・
討論・採決 |



Q&A 一般質問

一般質問は市政全般にわたり、市長その他執行機関に対し、事務の執行状況や将来への方針等について、所信を質したり、報告や説明を求めたりするために行うものです。
3月定例会でのみ所属3人以上の会派が代表質問(時間120分)を行うことができます。
今定例会では1会派が代表質問を行い、5名の議員が個人質問(時間60分)を行いました。

※質問の要旨を質問順に掲載しています。(代表質問は4ページ、個人質問は5～7ページに掲載しています)

代表質問



おおまえ かんじょう
大前 寛乗 議員
自民党市政会



質問の様子は
こちら!

行政財運営について

Q 新年度予算編成に当たり留意した点と重点施策について伺う。

A 「中心市街地活性化公民連携事業」については、駅前拠点施設の整備等に着手し、坂出緩衝緑地エリアにおいては、利用者向けのスペースや事務機能を備えた拠点施設の建設に着手するための予算を計上したほか、「坂出市内企業版ガイドブック制作業務委託料」として、地元での就職を促すなど、移住・定住の機運醸成を高めるまちづくり関連事業に予算を重点配分しました。

また、「坂出市学校給食事業補助金」として、令和8年度より新たに中学校の給食費無償化を実施するほか、「再編新校(前期)整備事業」や「絵本のまちさかいで推進事業」など、子育て世代に選ばれるまちづくり関連事業にも積極的に予算を配分しました。

さらには、降雨時の道路冠水解消や市街地の浸水防除を図る「排水路整備事業」のほか、「周辺用水対策事業」、また「緊急物資備蓄事業」の拡充といった、安全安心のまちづくり関連事業や、ゼロカーボンシティの実現、公共施設の老朽化対策などにも予算を重点的に配分しています。

(市長)

絵本のまちさかいで推進事業について

Q ボランティアの方々の協力を得て、企画展を増やす考えはあるか伺う。

A 先般市民美術館で開催された絵本作家による原画展及びイベントは大変多くの方が訪れました。主催は数十年にわたり読み聞かせボランティアを行っている団体によるもので、子供に絵本やおはなしの面白さを伝えていくこと、子育てに関わる全ての人に絵本の世界の奥深さを知ってもらおう活動をされており、図書館においても「図書館友の会」の一員として、様々な行事を支えていただいています。

本市では、子供の頃から本とふれあい、読書を習慣づける取組として「絵本のまちさかいで推進事業」に取り組んでおり、令和6年度から「えほんのまちさかいでつうしん」も発行しています。御提案のような企画を行うことは、子供や保護者の方をはじめ、地域の方々に絵本の素晴らしさを知っていただく大変良い機会と捉えています。
今後、本市の「絵本のまちさかい」への取組を幅広く知っていただける企画ができるよう、各ボランティア団体と連携を図りながら検討を進めていきます。

(教育部長)

農業振興について

Q 環境配慮型農業の令和7年度の実績と令和8年度事業内容、今後の課題について伺う。

A 有機農業の推進については、有機JAS認証の取得は栽培技術や生産コスト、労力の面で課題が多く、拡大していくことは難しいものと考えています。そのため、有機JAS認証に相当する農業を含め、化学肥料や農薬の使用を低減または不使用とする農業を「環境配慮型農業」と位置づけ、市民の理解や関心を喚起する取組を行っていきたくと考えています。
本年度は、12月8日の「有機農業の日」にあわせ、化学肥料を使わずに栽培した金時にんじんを幼稚園や小学校の給食で提供しました。また、本年1月に環境に配慮した農業セミナーを開催したところ、53名の参加があり、再度参加を希望する声など、好意的な意見が多く寄せられました。

今後の課題については、環境配慮型農業による農産物は慣行農業に比べて販売価格が高くなる傾向があることから、選択・購買を促進するための消費者へのより一層の理解醸成が重要であると考えています。

新年度においても、学校給食や農業セミナーの取組を継続するなど、環境に配慮した農業への理解と関心を高めたいと考えています。

(建設経済部長)

質問の主な項目

- ・ 防災対策について
- ・ ふるさと納税について など

Q&A

一般質問



とりかい ゆい
鳥飼

由衣
議員

政志会



質問の様子は
こちら！

かもめの広場について

Q 高校生を対象としたグループワークを再度実施し、その意見を今後の施設整備や利用促進を図る取組として反映させる考えがあるか伺う。

A 学習環境や利用ニーズが変化していく中で、高校生をはじめとする若者世代の生の声を、今後の施設運営等に生かしていく視点は大変重要であります。かもめの広場の設置に際しては、市内の高校生を対象としたワークショップを開催し、名称や利用方法を決定しました。また、複合施設整備に向けた検討段階においても、市内の高校生を中心とした「さかいで未来会議」を設置し、対話のプロセスを経ることで、ニーズの把握等に努めてきました。

今後も、利用者の日常的な利用状況や、現場でお寄せいただくお声などを丁寧にお聞きし、より良い学習環境の提供や、利用促進に繋がっていきたくと考えています。
(政策部長)

質問の主な項目

・香川県広域水道企業団中讃ブロック統括センター旧坂出支所庁舎について
など

点字ブロックについて

Q 点字ブロックの補修・更新を行う判断基準と維持管理方針について伺う。

A 本市においては、点字ブロックについての維持管理の判断基準を設けていませんが、摩耗や破損を確認した際には、「視覚障害者の誘導に支障があるか」「歩行の安全を阻害するか」という点で、補修の必要性について検討し、修繕しています。

具体的には、経年劣化によるひび割れや剥がれ、欠損が生じている箇所については、視覚障害者のつまずきや転倒、誤認を招く恐れがあるため、速やかに現地調査を行い、修繕の緊急性を判断しています。

今後も市民の皆様から通報があった際には、速やかに現地調査を行い、早急に修繕を実施するとともに、日々の道路パトロールの中においても、点字ブロックにより注視することで、誰もが安心して安全に移動できる歩行空間の確保に努めていきます。
(建設経済部長)



さいとう よしあき
斉藤

義明
議員

自民党市政会



質問の様子は
こちら！

人口減少問題について

Q 林田幼稚園の園児数が減少しているが、2年後に廃園になる見通しなのか伺う。

A 令和8年度の林田幼稚園の入園予定園児数は、現時点で9名であり、今年度とほぼ同数となる見込みです。

近年、共働き世帯の増加等により、保育需要が高まり、幼稚園の園児数は減少傾向にあります。一方で、坂出中央幼稚園が令和8年度末で閉園する影響で、今後、林田幼稚園への入園希望者数が増える可能性もあって考えています。また、周辺には幼稚園教育施設がないことから、地域における幼児教育の受け皿としての役割も考慮する必要があります。

現時点では、2年後の閉園の見通しについては、決定していません。今後の社会情勢や入園希望者の動向、地域のニーズ等を総合的に勘案し、林田幼稚園のあり方について、引き続き検討していきます。
(健康福祉部長)

質問の主な項目

・自治体満足度調査について
など

病院経営について

Q 新年度以降の坂出市立病院の経営について、病院事業管理者の見解を伺う。

A 坂出市立病院の経営予測ですが、今後益々厳しい決算状況が続くものと考えています。原因は、2年続いた人事院勧告に基づく多額な人件費増と、円安・物価高による診療材料費や薬品費の高騰があります。加えて新築移転時に借り入れた約65億円の企業債が、令和6年度末時点で元本約48億円残っており返済途中で、何より、当院は一般会計からの繰り出し額が、総務省が提示している繰り出し基準額より少ないことが主な要因です。

当院としては、厳しい財政条件の中でも、会計上の赤字額を減らす努力をしています。最近の高水準な人事院勧告等もあり、黒字化は容易ではなく、赤字決算が続くと考えています。ただ、当院は財政面で未来への備えを計画的に行ってきたので、当面資金ショートや一般会計からの借り入れ等の事態は起こさず、運営は可能と考えています。

当院としては、赤字決算の要因の一つであります繰り出し基準の遵守を、常にお願しているところです。
(病院事業管理者)

一般質問



わたなべ たくま
渡辺 拓馬 議員

国民民主坂出



質問の様子は
こちら！

三菱ケミカルのコークス及び炭素材の事業撤退について

Q 事業撤退に伴う荷役従事者や関連事業者の不安払拭のための対応について伺う。

A 最新の坂出港における取扱貨物量を試算しますと、国内外から約313万トンの石炭を搬入しており、坂出港全体の搬入量の約4割を占めています。あわせて、国内外へ約225万トンのコークスを搬出しており、坂出港全体の搬出量の約7割を占めていることから、取扱貨物量への影響は非常に大きいものと認識しています。

また、港湾の運営を円滑に行うために、当該事業所敷地を含む周辺を、臨港地区に指定していることから、港湾を利用する企業の立地が望ましいと考えています。

一方で、当該施設は民間事業者が所有しており、設備の撤去後の対応については、当該事業所の経営判断に基づき跡地の活用が図られるものと考えています。

当該事業所の動向を注視しつつ、番の州地区については、香川県が埋立事業を行い、企業を誘致し、工業団地を形成してきた経緯もあることから、香川県と連携して取り組んでいきたいと思えます。

(技監)

坂出港の発展について

Q 坂出ニューポートプランの推進について市の見解を伺う。

A 昨年7月、坂出ニューポートプランに思い描いた坂出港の将来像を実現可能な未来とするため、坂出港振興協会とともに、四国地方整備局、香川県の後援を得て、「坂出港の未来をみんなで考えるシンポジウム」を開催しました。当会において、約90名の港湾関係者や市民等にご参加いただく中で、坂出港の発展・地域活性化に向けた意欲ある地元企業・団体等との連携が不可欠であることを実感し、引き続き、公民一体となった機運の醸成に、国県などの関係機関と連携しながら取り組んでいきたいと考えています。

令和8年度においては、当プランの具現化に向けた港湾計画の改定作業として、交通量調査や土地利用の検討などを進めていきます。改定内容については坂出港独自の強みを最大限生かすとともに、坂出港を取り巻く状況は一層厳しいものとなっていることから、改定時期については、令和9年度を目途として取り組んでいきます。

(技監)



さがわ よしえ
寒川 佳枝 議員

公明党議員会



質問の様子は
こちら！

絵本のまちさかいで推進事業について

Q サードブック、通称ほんごプロジェクトの内容について伺う。

A 本市の全ての子供たちが読書を通じて豊かな心と未来への力を育むため、「絵本のまちさかいで推進事業」の内容を拡充し、これまでのブックスタート、セカンドブックに加え、令和8年度より5歳児に本をプレゼントする「サードブック」に取り組み、図鑑や自然科学などを含めた様々なジャンルからなる15種類の本のうち1冊を選んでいただくこととしています。

そして、ブックスタート、セカンドブックは絵本の受け渡し場所を乳幼児健診会場としています。サードブックでは、図書館に置いていく多くの分野の本に子供たちが出会うことで、知的好奇心をさらに高めてほしいという思いから、本の受け渡し場所を図書館としています。図書館が「本」と「子」の出会う場所となるように、通称「ほん」と「こ」プロジェクトとしました。

子供たちが、自分の「好き」を見つけ、興味を持ったことについて調べたりチャレンジしたり、図書館を一つのきっかけとして、将来にわたる豊かな学びにつながればと期待しています。

(教育部長)

防災について

Q 安全・安心な避難所運営のための女性防災リーダーの育成について本市の取組を伺う。

A 本市では、東日本大震災の際の避難所生活において、女性の避難者が身体的、精神的に抱えた悩みや苦勞を知り、危機感を持ったことから、性差によるニーズの違いによる理解不足や避難先での安全確保等の課題に対応するため、平成26年に女性職員有志による坂出市防災女性チームを結成し、防災を日常に取り入れることをテーマに、様々な防災イベントの企画や防災広報を行うとともに、女性の視点から妊産婦や子供連れ避難者への対応策を盛り込んだ避難所運営マニュアルを作成するなど、積極的に活動を行っています。また、地域や企業防災については、坂出市消防団女性分団チームコスモスの消防団員が中心となり、広報や訓練指導など、活発な活動を行っています。

さかいで防災おとめ隊とチームコスモスが協力し、今後も引き続き活動を行っていく中で、女性や子育て世帯の防災ニーズを吸収しながら、職員だけでなく、避難所運営に必要な地域の女性防災リーダーの育成にも努めていきます。

(市長)

一般質問



しのはら こういち
篠原 光一議員
無所属



質問の様子は
こちら！

学校再編整備について

Q 地域住民や保護者、学校利用者の意見や要望等を設計等に反映させるため、説明会の実施を求めのほか、学校再編準備委員会において事業者が提案した設計等について議論ができるような運営をすべきでないかと考えるのがいかがか。

A 現在、再編新校（前期）整備事業は、事業者選定を行っており、今後提出される提案等については、広く市民の皆様へ周知する予定としています。

これまでの過程においては、地元説明会や各校からの意見・要望等を集約、整理し、可能な限り要求水準書に反映しています。

今後においても、地域をはじめ各分野からの代表者で構成する再編準備委員会において、学校や保護者、地域の代表者の方々の声を大切にしながら協議を進めていきます。

坂出市にとって初めての小中一貫校であり、夢や希望を育むことができ、子供たちにとって望ましい教育環境の整備に取り組んでいきます。

（教育長）

独り暮らし高齢者等への住宅生活支援について

Q 高齢者への声かけ・見守り活動について伺う。また、拡充していく計画があるか伺う。

A 高齢者への声かけ・見守り活動につきましては、「民生委員・児童委員」「地区社会福祉協議会」「老人クラブ」「坂出ほっとふれんず」など複数の団体や組織によって実施されています。

民生委員・児童委員は、「在宅高齢者実態調査」事業において、市内に居住する65歳以上の高齢者へ声かけや見守りを行い、高齢者の安否確認、生活状況や健康状態の把握、災害時の対応、さらには各種相談への対応など、地域に密着した活動を行っています。

「坂出ほっとふれんず」は介護保険制度を利用していない、独り暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯のうち、訪問を希望される方に、2〜3か月に一回程度訪問し、安否確認や話し相手になるなどの活動を行っています。

今後の拡充計画については、本市としては関係団体との連携を強化し、高齢者の方々が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、見守り支援事業を推進するとともに、各団体への支援を行っています。

（健康福祉部長）

意見交換会を開催しました

総務消防委員会

令和7年12月25日（木） 坂出市連合自治会

市役所本庁舎4階委員会室にて、自治会の現状と課題について意見交換をしました。

主な意見

- 自治会の担い手不足について
- 自治会運営補助金について
- 地域の保全等を目的としたラジコン草刈機の導入・補助について など



市民建設委員会

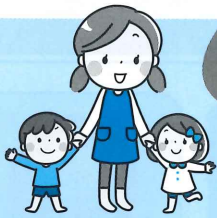
令和8年1月13日（火） 坂出商工会議所、さかいで地域おこし協力隊

市役所本庁舎4階委員会室にて、市の観光振興の課題について意見交換をしました。

主な意見

- 宿泊施設不足について
- SNSの活用について
- イベントの見直しについて など





委員会

レポート Report



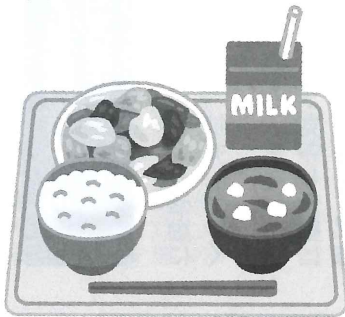
付託議案
14件

教育民生委員会

全議案全会一致で可決

中学校給食費を無償化します

本市では令和4年度より小学校の給食費の無償化を実施していますが、子育て世代への支援拡充のため、国の給食費負担軽減交付金が創設されたことから、小学校給食費無償化予算の一部を活用し、令和8年度より中学校の給食費の無償化を行います。



付託議案
8件

総務消防委員会

議案第64号、議案第67号及び第78号については賛成多数により可決。その他は全て全会一致で可決

空き家除却支援事業補助金を継続します

令和7年度より実施している旧耐震空き家除却促進事業補助金を今年度も引き続き継続し、地震による倒壊等の危険性がある空き家の除却を促進することで、地域の生活環境の保全及び安全安心なまちづくりを推進します。

【旧耐震空き家除却促進事業補助金】

補助対象経費

1戸当たり400万円を上限
補助率1/4（補助上限額100万円）

※令和7年度からの3年間の期限付事業です。

※従来の老朽危険空き家除却支援事業補助金は継続的に実施予定です。

ラジオ番組 「みまい・ききまい・坂出市議会」

ラジオ番組「みまい・ききまい・坂出市議会」を放送しています。

市議会の取組や市政の情報について、議員が月替わりで発信しています。ぜひご視聴ください。
(FMサン76.1MHz「Weekdayみっくす内」とKBN地上111ch)

放送日はSNSでお知らせしますので、フォローをお願いします！（最終ページ参照）

※FMサンの番組はスマートフォンアプリRadimo（レディモ）でも聴くことができます。ぜひご利用ください。

KBNのYouTubeチャンネルでの放送を開始いたしました。ぜひご視聴ください！



←KBN YouTube
はこちらから！



付託議案
9件

市民建設委員会

全議案全会一致で可決

物価高騰生活支援給付金を支給します

「強い経済」を実現する総合経済対策に掲げる生活の安全保障・物価高への対応として、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者支援のため、市民に対して1万円を給付します。

支給対象者

基準日（令和8年3月31日）において、住民基本台帳に記載されている原則19歳以上の市民（物価高対応子育て応援手当（18歳以下）の対象でない者）

支給額 1人当たり1万円

支給時期 令和8年5月中に支給開始予定

令和8年

1月臨時会の審議結果

議員数=19名 表決参加議員数=18名 ※議長は表決には加わりません。

全議員が賛成した議案(可決)

予算

令和7年度坂出市一般会計補正予算(案) (第6号)

令和8年

3月定例会の審議結果

議員数=19名 表決参加議員数=18名 ※議長は表決には加わりません。

全議員が賛成した議案
(可決・同意)

市長提出議案

予算

令和8年度坂出市国民健康保険特別会計など 12件

条例

坂出市特定乳児等通園支援事業の運営に関する
基準を定める条例制定についてなど 10件

その他

市道路線の認定についてなど 7件

議案内容等の詳細は、
坂出市議会ホームページ
【提出議案等・審議結果】を
ご覧ください。

可決

賛成17名
反対1名

市長提出議案

特定事業契約の変更について
第2次坂出市まちづくり基本構想の策定について
令和8年度坂出市一般会計予算(案)
令和7年度坂出市一般会計補正予算(案) (第8号)

原案可決に賛成

鳥飼 由衣、渡辺 拓馬、小笠原 浩、植原 泰、山下 真司
角野 正明、丸岡 豊和、東原 章、若谷 修治、寒川 佳枝
若杉 輝久、茨 智仁、斉藤 義明、楠井 常夫、大藤 匡文
前川 昌也、大前 寛乗

原案可決に反対

篠原 光一

議案第67号令和8年度坂出市一般会計予算(案)に関する意見概要

賛成意見(要旨)

本予算案は前年度比20.5%増の約319億6千万円と過去最大の予算規模となりました。物価高騰、人口減少など厳しい社会経済環境の中、本市の様々な課題解決に向けて真摯に取り組み、「働くまち」から「働くまち」と「住むまち」の両立を目指し、しっかりとした基盤を形成して持続可能なまちづくりのためのバランスの取れた予算編成になっていると評価します。

駐車場不足が顕在化している現状を踏まえた新たな立体駐車場の建設、中学校給食費無償化による子育て支援、備蓄品の拡充や危険な空き家の除却を推進する防災対策、認知症予防などの高齢者支援や母子保健施策の拡充による市民福祉の向上に寄与する健全なまちづくり事業等、市民生活の安全安心を守り、未来に向けて「幸せに住み続けたい町」への実現に資する予算案であると判断し、賛成とします。

反対意見(要旨)

1点目は中心市街地活性化公民連携事業についてです。前年度と比較して予算全体は54億4,350万円増加していますが、中心市街地活性化公民連携事業が約60%を占めています。町全体を活性化するためには、周辺地域も含めた活性化のための施策や予算配分が求められますが、中心市街地活性化公民連携事業に重点的に配分されており、他の施策や町全体の活性化に支障を来すのではないかと考えます。

2点目は、道路新設改良事業です。前年と比べて増額はされていますが、地域住民が求める道路改修に必要な予算が配分されていません。

3点目は、公的医療を担っている坂出市立病院への一般会計からの繰り出しが、国が示している基準額に見合っていないことについてです。令和7年度の繰り出し予定額は、市立病院が求めた半分以下であり、令和8年度についても、微増でしかありません。予算増額を強く求めます。

3月定例会で同意した人事案件【敬称略】

◎坂出市公平委員会委員

野村 亮子 中西 明彦

◎坂出市固定資産評価審査委員会委員

宮竹 光浩 西田 佳史 川田 多

◎人権擁護委員候補者

三野 秀行

議員研修会を開催しました

1月14日 健康づくりはまちづくりから 部署間連携で自然と健康になれる坂出へ

坂出市議会では、議員の政策形成及び立案能力の向上に資するため、議員研修会を開催しています。

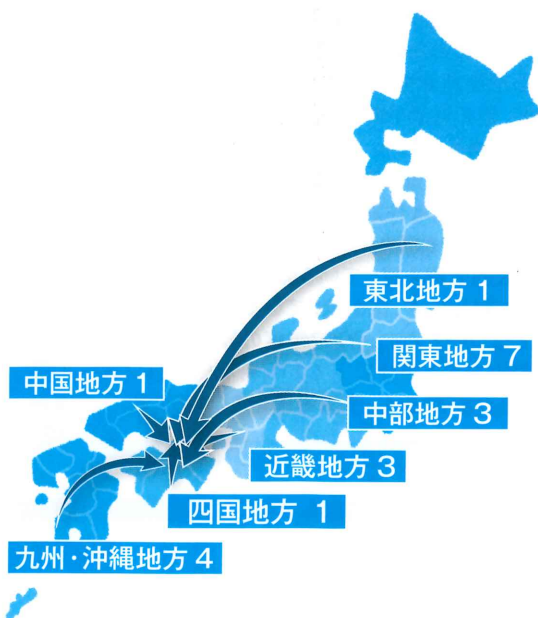
本年1月14日に、京都大学大学院医学研究科社会的インパクト評価学講座特定准教授の高木大資氏を本市に招き、現代社会における健康課題及びまちづくりの観点から市民の健康を増進する方法について講義を受け、意識せずとも自然と健康になれる町を目指す取組について学びました。



全国から 坂出に!!



本市の施策を調査・研究するために、全国各地の議会が本市を訪れています。



10月1日から3月31日の間に来庁された議会を掲載しています。

【視察事項】

- | | | |
|--------|-------------|-----------------------------|
| 10月 8日 | 鹿児島県出水市議会 | 市立病院に関する病院経営について |
| 9日 | 千葉県館山市議会 | 高齢者保健・介護予防一体化事業について |
| 15日 | 熊本県熊本市議会 | 中心市街地活性化公民連携事業について |
| 20日 | 福井県鯖江市議会 | 中心市街地活性化公民連携事業について |
| 21日 | 大阪府堺市議会 | 保健事業と介護予防の一体的な取組の推進について |
| 22日 | 静岡県小山町議会 | 地域公共交通政策について |
| 23日 | 千葉県富里市議会 | ビジネスサポートセンター事業について |
| 29日 | 千葉県市原市議会 | 中心市街地活性化公民連携事業について |
| 29日 | 高知県四万十市議会 | 高齢者保健・介護予防一体化事業について |
| 30日 | 千葉県流山市議会 | 防災スペシャリストの取組について |
| 31日 | 宮城県富谷市議会 | 防災・危機管理スペシャリスト養成プログラム事業について |
| 11月 5日 | 埼玉県蕨市議会 | 坂出市立病院の再建と経営等について |
| 5日 | 東京都墨田区議会 | 高齢者保健・介護予防一体化事業について |
| 6日 | 沖縄県名護市議会 | 防災・危機管理スペシャリスト養成プログラム事業について |
| 13日 | 山口県下松市議会 | 生成AIを活用した高齢者の買い物支援について |
| 1月15日 | 静岡県焼津市議会 | 防災・危機管理スペシャリスト養成プログラムについて |
| 21日 | 滋賀県湖南市議会 | 地域公共交通について |
| 29日 | 鹿児島県薩摩川内市議会 | 防災・危機管理スペシャリスト養成プログラム事業について |
| 2月 2日 | 滋賀県彦根市議会 | インターネット上の誹謗中傷等の防止に関する条例について |
| 3月25日 | 神奈川県厚木市議会 | 中心市街地活性化公民連携事業について |

令和7年度

政務活動費 収支報告

政務活動費ってなに？

政務活動費とは、
地方自治法に基づき、市長が議員の
調査研究その他の活動に資するため必要な経
費の一部として交付するものです。その交付額
や交付対象については、坂出市議会政務活動費
の交付に関する条例で定めており、各会派
に対し所属議員1人当たり年額25万円を、
またいずれの会派にも所属しない議員に
対し年額25万円交付しています。



(単位 円)

会派名または議員名	会派名				議員名(無所属)	
	自民党市政会	政志会	公明党議員会	国民民主坂出	篠原 光一	
会派人数	12人	2人	2人	2人	—	
交付額	3,000,000	500,000	500,000	416,000	250,000	
使 途 の 内 訳	調査研究費	0	0	0	0	
	研修費	0	2,660	0	1,900	75,680
	会議費	0	0	0	0	0
	調査旅費	949,707	100,116	52,146	100,484	0
	要請・陳情活動費	0	0	0	0	0
	資料作成費	0	0	0	0	0
	資料購入費	0	0	14,256	0	2,700
	広報費	140,800	0	0	0	171,620
	広聴費	0	0	0	0	0
	人件費	0	0	0	0	0
残 額	1,909,493	397,224	433,598	313,616	0	

※令和8年3月31日時点の会派または議員について掲載しています。年度の途中で所属議員数に異動が生じたときや新たに会派が結成されたときは、交付額が変更になります。

どういふことに
使えるの？

会派または議員が行う調査研究、研修、各種会議への参加、広報、広聴、要請・陳情活動など、市政の課題や市民の意見を把握し、市政に反映するための活動等が対象になります。政党活動、後援会活動、私人としての活動のための経費等は対象となりません。

毎年度終了後に、領収書の写し等の証拠書類を添付した収支報告書を議長に提出することになっています。議長が収支報告書の内容を確認した後、市長へ収支報告書の写しを送付します。残額があった場合はすべて市長へ返還します。

さらなる透明性確保のため、収支報告書に加えてすべての領収書をホームページで公開しています。

領収書は添付
しているの？

変わりゆく坂出

Vol.12 坂出北インターチェンジ

令和8年3月20日、坂出北インターチェンジの四国方面出入口が開通しました。平成29年9月に工事が開始されて以降、途中で落石対策が急遽必要になるなど思わぬトラブルにも見舞われ、紆余曲折ありましたが、無事開通できたことに安堵するとともに、この事業に尽力された皆様に深く感謝いたします。

物流、観光、防災、あらゆる面で坂出北インターチェンジは四国の交通戦略において重要な役割を担い、地域の発展に寄与していくことが期待されます。

市議会としましても、この新しいインターチェンジがもたらす町の変化に、地域住民や本市への来訪者がどのように反応し、享受していくのか注視し、さらなる活性化につなげていけるよう活動してまいります。



坂出北インターチェンジ(工事中)

議会の情報発信中

坂出市議会では、議会の日程や委員会に関する情報についてSNSで発信しています。ぜひフォローをお願いします。



X(旧Twitter)



フェイスブック



インスタグラム



一般質問の様子は、**KBNの生中継**または**インターネット配信(録画)**でご覧になれます。

インターネット配信は、こちら→のQRコードからアクセスしてご覧ください。



編集後記

四季折々の景観、食事、行事など移りゆく季節に日常の豊かさを感じます。だんだんと暖かくなり、多くの植物の成長や開花が楽しめ、屋外での活動を満喫するのに最適な時期となりました。本年3月1日に、供用開始されたばかりの坂出駅南口のバスターミナルを見に行ったところ、ピンク色の河津桜が駅前を彩っており、これから変化していく坂出への期待に胸が膨らみました。5月は鯉のぼりが青空に舞っている姿、青々とした木々の力強い生命力に多くの方が身体も心もワクワクしているのではないのでしょうか。

本市でもこれから様々な変化が訪れます。先日、四国方面にも開通した坂出北インターチェンジによる物流の活性化、楽しめる空間、体験できる空間を備えた複合施設の整備等、変化していく町にご注目ください。

終わりに、豊かな自然と歴史を持つ坂出市が「希望と夢が膨らむ町」として、これからも発展することを願っております。

(角野)

広報広聴委員会 委員長……角野正明 副委員長……山下真司
委員……篠原光一 渡辺拓馬 若谷修治
寒川佳枝 楠井常夫 前川昌也

次回開催は…
5月臨時会を5月下旬に、
6月定例会を6月中旬に、
開催予定です。

